



Spring 4-19-2023

Bring Your Broom Project (自分の箒をもって参加しよう)

Yoshihiko Ariizumi
yariizumi@hotmail.com

Follow this and additional works at: <https://scholarsarchive.byu.edu/sproficiency>



Part of the [Social Work Commons](#)

Recommended Citation

Ariizumi, Yoshihiko, "Bring Your Broom Project (自分の箒をもって参加しよう)" (2023). *Spiritual Proficiency*. 4.

<https://scholarsarchive.byu.edu/sproficiency/4>

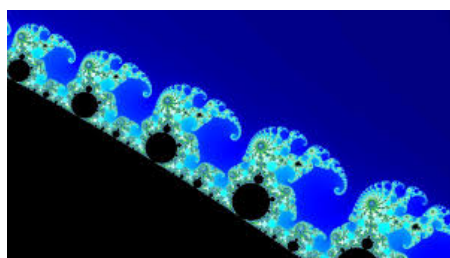
This Article is brought to you for free and open access by the ANEL at BYU ScholarsArchive. It has been accepted for inclusion in *Spiritual Proficiency* by an authorized administrator of BYU ScholarsArchive. For more information, please contact ellen_amatangelo@byu.edu.

小さな努力も積み重なると、予想外の結果を出せる

有泉芳彦

(yoshi.ariizumi@gmail.com)

カオス理論というのがあります。ある初期条件を与えてそれを限りなく繰り返すうちに、予想もしないような面白いパターンが生み出されるという現象を説明する理論です。



上の図のようなイメージを使って、この理論が説明されることが多いです。ところで、この理論を視覚的に訴える形で解説する時、「バタフライ効果」という言葉が使われます。ブラジルで蝶が羽ばたいた時に生じる僅かな空気の動きが、米国のテキサス州に至って、竜巻を引き起こす可能性もあるというのです。このように、小さな力がその後に及んで予測もできないような大きな現象を生み出す可能性をこの理論は示唆しています。



小さなことでもワクワクしながらやっていると**すごい感染力**がある

わたしは、自分の博士論文に基づいて25年以上開発してきた、「夢実現の仕組み」とも呼ぶことのある知源育というメソッドを使っているいろいろなことに成功してきたので、2010年ごろ、住んでいた南フィラデルフィアの汚い街並みを何とかできるかもしれないとぼんやり考えていました。そんなある日、ワシントンDCで国際政治などを勉強している極めて現実的な娘が一時的に訪問してくれていたもので、聞いてみました。「この辺りの汚い道路とかの環境をおとうさんが何とかできるかな？」娘の即答は、「何もできるわけじゃない。市民権もない、政治的な力もない、お金もない。無理、無理！」その瞬間、密かに何かやるぞと決意していました。



そこでやり始めたのは極めて小さなことで、やろうと思えばだれでもできることでした。毎週ゴミ収集車が来る日、家の外に出て、10分ぐらい家の周りだけを掃除するというものでした。しかし、晴れの日も、雨の日も、凍てつく寒さの時も続けました。だんだん足を延ばし、自分たちのブロックの角で一番汚れているところとか、少し離れたところにも足を延ばすこともありました。これはけっこう楽しいですね。不思議なことに、これをやっていると、心の中に、あの「光の中進もう」の子供の歌が流れているのです。そして、何かか進んでいるのを見てうれしくなってきますから、それが、周りの人たちのやる気に火をつけたんです。

教会の南フィラデルフィア支部の大祭司グループリーダーのギブソン兄弟がわたしをアシスタントに推薦してくれて、彼の助けを始めていました。ある調整集会で、彼が何か支部の奉仕活動を計画したいからアイデアはないかと尋ねたのです。そこで、わたしが毎週やっている掃除のことをさり気なく伝えると、「それだ！みんなでそれをやろう」ということになり、彼はこの活動をBring Your Broom（自分の箒をもって参加しよう）と名付け、けっこう裕福な人なので、自腹を切って、さっそくこのロゴが黒い字でプリントされた黄色いTシャツを何十か注文して、支部ぐるみで、毎月のある土曜日に掃除が始まりました。20人ぐらいの参加で、宣教師さんも加わり、一番汚いいくつかのブロックをきれいにしました。参加する人たちは和気あいあいという雰囲気、途中でお休み会員を訪問したり、別の教会の人たちとの交流も始まりました。ところが、この活動の輪の広がりはその場でストップしなかったのです。



フィラデルフィアの中心部に近いオフィスの1角で、近隣のBYUの卒業生たちが集うチャプターのミーティングがあったので顔を出してみることにしました。そこには地域の教会幹部を勤めていたスミス長老も参加していました。10数人ほどの集まりです。たまたま、議題の一つが奉仕活動の企画で、わたしが一言、南フィラデルフィア支部でのBring Your Broomプロジェクトのことを話すと、全員が即決で、それをやろうということになったのです。何と周辺の4つのステークにまたがる活動になり、その当時、フィラデルフィア神殿の基礎工事が始まっており、その周辺の汚れたところをきれいにするという企画が決まりました。その結果、毎回、何百人もの人たちが参加してくれました。

この経験から学んだこと。わたしたちは何の政治的な権力、社会的な地位、経験や知識がなくても、お金がなくても、小さなことから始めて何かを**コツコツと**、しかし、**楽しく心から純粋な熱意を持って**進めていると、それは一挙に人々を行動へと動かす力になれるということです。日本全国での伝道の業も、そのような志を持った兄弟姉妹が、無理せず、みたまの助けを借りながら、自分独自の方法で、仲間と連帯しながら、コツコツと行なったら、きっとその輪は日本中に広がっていくと信じています。そのために、「神様とのパートナーシップ」という方法が威力を発揮してくれますよ。興味のある方は、わたしにメールで知らせてください。アドレスはこの記事のタイトルの下にあります。

